

令和7年度博物館評価 実施手順

1. 「博物館評価 評価表」の配付

運営協議会当日に各委員の席に評価表を配付いたしますので、ご出席の際に正しい評価表が配られていることをご確認ください。

※欠席した委員には後日送付いたします。

2. 令和7年度事業報告

運営協議会当日の報告をもとに評価を行っていただきますので、ご担当の重点項目をご確認のうえ報告をお聞きください。

※欠席した委員は後日送付する会議資料をもとに評価を行っていただきます。

3. 「博物館評価 評価表」の記入および提出【3月19日（木）まで】

配付した評価表にご記入のうえ、郵送・FAX もしくはスキャンデータをメールにて新潟市歴史博物館運営協議会事務局宛にお送りください。

4. 令和7年度博物館評価の結果報告

各委員から寄せられた評価表を事務局が取りまとめ、令和8年度第1回運営協議会（5月～6月初旬開催予定）にて結果を報告いたします。

〈評価表の送付先〉

新潟市歴史博物館 運営協議会事務局

〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10

FAX：025-225-6130

E-mail：museum@nchm.jp

令和7年度 新潟市歴史博物館事業報告

◆指定管理事業

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団が指定管理者として、下記事業を実施した。

1 展示運営更新事業

事業概要	
展示運営更新	「郷土の水と人々の暮らし」をテーマに新潟市の歴史を紹介する常設展示では、日々の設備点検保守と見学への対応を行い、展示替え可能なコーナーでは、時期を変えて「行田魁庵の絵画」「明治の新聞」「漆器」「川村修就関係資料」「豊臣氏関係資料」の5回の展示を予定し、先の4回を実施した。 また、シアターでは3本の映像ソフトを時間に応じて上映。今年度から2か年計画で新規の映像ソフト(川湊や潟の歴史・文化を発信する映像)の制作に入った(「水がつなぐ各地域の歴史・文化の魅力発信事業」)。

2 企画展示事業

事業名	開催期間	観覧料	事業概要
①「にいがた てしごとものづくり展」	4月12日 ～6月8日	一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 200円	新潟で紡がれてきた『てしごと』や『ものづくり』と暮らしのかかわりから新潟の魅力を見つめるとともに、それを受け継ぐ人びとを紹介した。 観覧者数:3,240人(うち有料観覧者 2,340人、無料観覧者 900人)
②「戦場の町と村 新潟市と戊辰戦争」展	7月12日 ～8月31日	一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 無料	慶応4(1868)年の北越戊辰戦争では新潟町も戦場となった。本展では市民から寄贈された戊辰戦争関連の資料などを手がかりに、現新潟市域の人々と戊辰戦争とのかかわりについて紹介した。 観覧者数:5,813人(うち有料観覧者 4,993人、無料観覧者 820人)
③第22回むかしのくらし展 「くらしのなかの あたりまえ」	10月11日 ～11月24日	無料	小学校3年生の社会科「むかしの暮らし」の単元に合わせた展示で、普段の生活の中でのあたりまえが、いつから当たり前になり、それ以前の生活はどのようなものだったのか、その移り変わりを紹介した。 会期は9月13日～11月24日であったが、臨時休館のため期間が短縮された。 観覧者数:5,970人
④収蔵品展・新収蔵品展	2月14日 ～3月22日	無料	収蔵品展ではテーマを設けて博物館が所蔵する資料を紹介、新収蔵品展では令和7年度に新たに収集した資料を紹介する。

3 教育普及事業

事業名	実施概要
①体験の広場	体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを48回実施。茶の間の押入スペースを使った展示を夏と秋の2回実施した。
②博・学連携	小・中学生の見学等で延べ90校に対応したほか、ゲストティーチング等、学校へ出向いての授業は10校に対応した。また、新潟大学への寄付講義も例年通り実施し、昨年度から始めた教師向けの「先生のための『みなとびあオープンデー』」は夏休み期間中の2日間、園児向けの「はじめてみよとびあ」は連携している4保育園と共催して11回、一般親子向けに4回実施した。
③博物館実習	新潟大学生を対象とした博物館実習を4月～11月までの間に12日実施し、新潟大学以外の大学を対象とした実習を夏休み期間中に10日間実施した。資料の収集・保存や展示公開、体験プログラムの企画、マネジメントなどに関する講義と実技演習を行った。
④講座	調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、各学芸員が講師をつとめる博物館講座を9回開催し、館長がプロデュースする館長講座を3月に全4回で開催する。新潟の歴史の特性を座学と現地から学ぶ歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」は秋に全3回で実施した。
⑤ボランティア	当館の活動に理解や関心を持ち、自己実現と社会貢献をめざして館の活動に参加するスタッフで本年度は一般で130名が登録。敷地ガイド・常設展ガイド、体験の広場のプログラムの実施などに従事し、活動回数は155回となった。ほか、高校生ボランティアは25名が登録し、活動回数は12回、8月には高校生ボランティアの企画・実施で「みなとびあたいけんのひろばなまつり」を開催した。本年度も新規の募集を行い、14名が参加の意向を示している。
⑥その他	「水がっつなぐ各地域の歴史・文化の魅力発信事業(広域合併20周年企画)」として映像制作を進めているほか、舟運で結ばれ、後に市の合併市町村の核になった旧在郷町を巡るまちあるきを秋に5回開催した。そのほか、まちあるきをテーマとした講座を3月に開催する。

4 施設普及事業

事業名	実施概要
①広報	「にいがた てしごものづくり」展では新潟日報社、「新潟市と戊辰戦争」展では新潟日報社とNSTと共催した広報を実施した。また、県外地方紙等へ観光誘発のための有料広告を掲載。その他、企画展やイベントに応じてチラシやポスターを製作し、関係機関・個人・団体に配布した。また、ホームページやSNSを活用した情報発信にも努めた。
②地域連携	地元市民団体と共催を予定したイベントの内、春の「堀と桜のコンサート」は雨天のため中止、夏の「夕涼みコンサート」は8月23日に、「みなと・しもまち・川まつり」は8月24日に開催した。そのほか、関連団体や学校などと連携し、館内のイベントラントなどを会場にしたパネル展なども随時行う予定。

<p>③みなどびあアアンクラブ</p>	<p>当年度も年間クラブ費600円(10月1日～翌年9月30日)で会員を募集した。会員は1月末時点で99名。常設展及び企画展の観覧料が団体料金(2割引)となり、博物館の情報定期的に提供されるほか、特典事業として館長バスツアー(6/1上越市)や館長講演会(11/30)、学芸員が講師をつとめる講座(2/11)やまちあるき(10/13)、各企画展の解説会などを実施した。</p>
---------------------	---

5 調査研究事業

事業名	実施概要
<p>調査・研究</p>	<p>新潟市の歴史を明らかにし、将来にわたって市民の知的財産になるための調査研究を実施。今年度はその成果の一部を研究紀要第22号にまとめ、各企画展および各学芸員の講座等で発表した。</p>

6 資料収集・整理・保存・活用

事業名	実施概要
<p>資料収集・整理・保存</p>	<p>市の歴史に関する資料を収集し、市民共有の財産として整理・保存・活用する事業を継続実施した。資料の寄贈受入れについては寄贈者との信頼・協力関係を保ちながら行うことに留意し、新規受け入れた資料については必要に応じて防虫対策のためのくん蒸を実施した。資料保存に関しては、展示室やケースなどの展示設備をはじめ、展示具を収める展示準備室、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校において、IPM(総合的有害生物管理。環境に配慮し、必要以上に薬剤を使用せず、こまめな清掃や有害生物が館内に入りにくいような物理的環境を整える管理手法のこと。)に則った保存環境管理を心がけた。</p>

7 管理運営

事業名	実施概要
<p>管理運営</p>	<p>利用者へのサービスに努め、市民に親しまれ、安心して活用できる博物館を目指し、歴史博物館・旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。特に今年度は9月10日の落雷によって防災設備が故障し、1か月館の休館となったこともあり、通常以上に防災意識を高め、火災の原因となる要素を排除するよう心がけた。また秋以降、降雨に際して発生する本館内の漏水について、見学者へ配慮しながら、その処理対策を日々行っている。</p>

◆付帯事業

事業名	実施概要
<p>物販 自動販売機の設置</p>	<p>図録や歴史関連の書籍・グッズなどを継続販売している。</p>

◆歴史発見プロジェクト(自主事業)

指定管理事業の補完的役割を果たす自主事業。特定費用準備資金制度にもとづいて実施。財源は団体・個人からの協賛金をはじめ、本事業の収益金および学芸員が外部講師等をつとめた際の謝金の謝金などによる。

1 企画展示事業

事業名	開催期間	観覧料	事業概要
①「大新瀉映画博覧会」	12月6日 ～1月25日	常設展観覧券の 購入で観覧可	新瀉における映画の歴史をひも解き、映画ポスターや映写機等を展示し、映画館の変遷や新瀉がロケ地となった映画、新瀉ゆかりの映画人を紹介した。 観覧者数:2,800人(うち有料観覧者 2,044人、無料観覧者 756人)

2 教育普及事業

事業名	実施概要
①古文書上達講座	古文書学習の経験者を対象にした全10回の古文書の上達講座で、受講料5,000円、毎月第4水曜日に実施したが、講師の体調不良により12月以降の会を中止とし、残りの回数分を返金した。
②みなとびあこども歴史クラブ	小学生を対象にクラブ員を募集し、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験を通じて学ぶ用にプログラムを実施した。毎月第3日曜日に実施し全9回の予定であったが、9月の開催分は臨時休館のため中止とした。クラブ員27名。
③大人の体験プログラム	大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを古町学に含めて、6月28日に「ふるまち映画館跡めぐり」を開催し、28名が参加した。
④特別講演会	相原嘉之氏(奈良大学文学部教授)を講師に、11月24日、万代市民会館を会場に「大化改新前後の飛鳥と難波-淳足柵の時代-」と題する講演会を開催した。申込者135名。
⑤古町学	冬季に開催する企画展「大新瀉映画博覧会」に関連した内容とし、NPO法人にいがた映像ギャラリー・新瀉娛樂映画同好会の協力のもとで実施した。大人の体験プログラムでもある6月28日の「ふるまち映画館跡めぐり」のほか、7月19日には「ふるまちで映画を語る」を映像カフェ座タイムで開催し14名が参加した。また、こども向けとして8月16日・17日には動画の仕組みを知るための「フィルム上映体験」を実施した。さらに11月2日は「みなどびあ映画の日」とし、セミナー室を会場に名画の上映会を行った。
⑥外部講師・講座	民間や公民館、その他団体の主催の講座・講演会などへ学芸員を講師として35回派遣した(1月末時点)。3月までに計43回の予定。

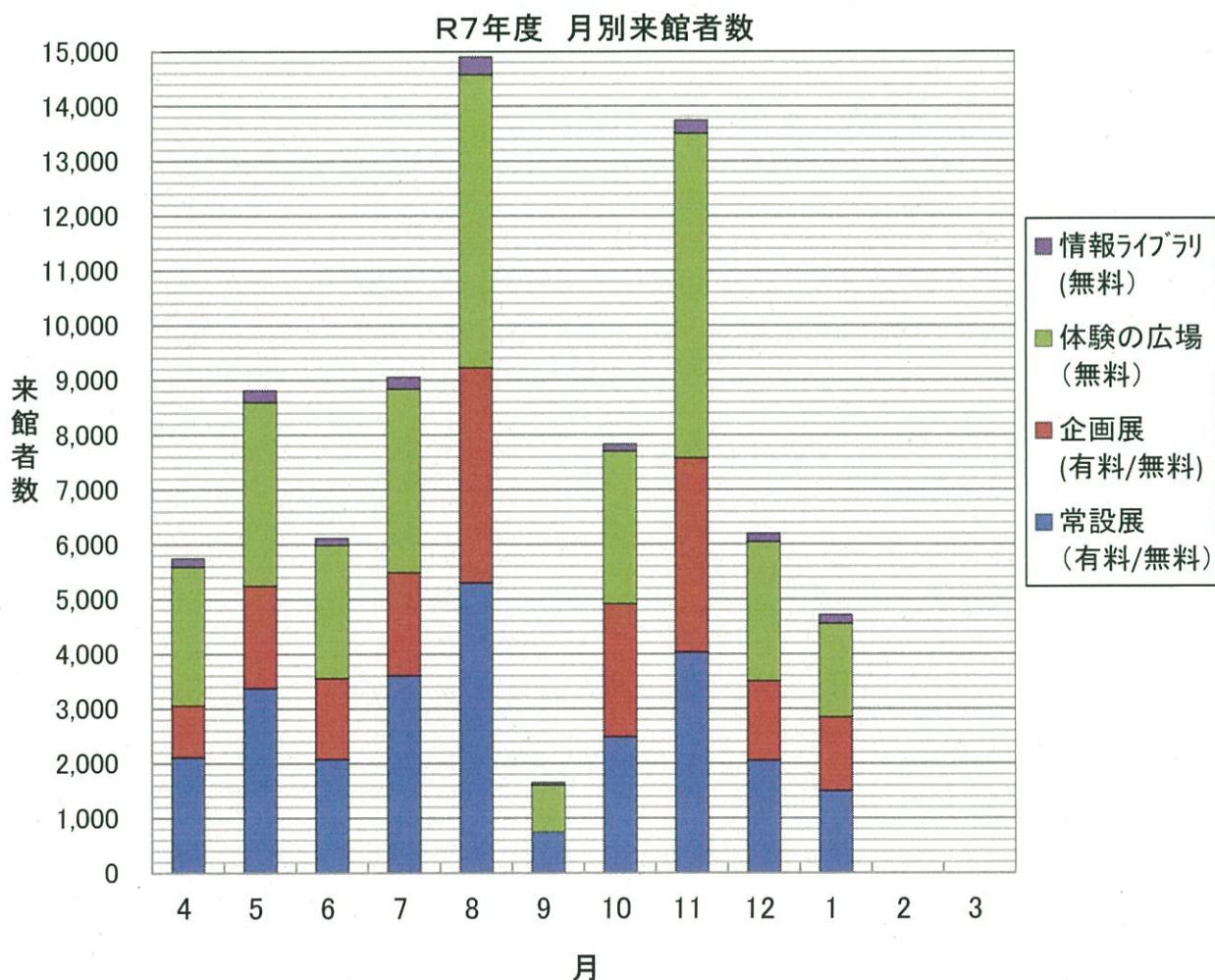
令和7年度 歴史博物館 来館者内訳

令和7年度目標観覧者数 93,000

○月別来館者数(1月末現在)

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R7月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	27	2,118	944	2,533	147	5,742	213
5	27	3,379	1,873	3,346	214	8,812	326
6	19	2,078	1,486	2,429	119	6,112	322
7	27	3,608	1,886	3,348	209	9,051	335
8	28	5,305	3,927	5,343	325	14,900	532
9	26	750	0	852	46	1,648	63
10	27	2,490	2,430	2,783	127	7,830	290
11	26	4,036	3,545	5,920	239	13,740	528
12	23	2,058	1,453	2,538	151	6,200	270
1	19	1,503	1,347	1,704	158	4,712	248
2	16					0	0
3	25					0	0
計	290	27,325	18,891	30,796	1,735	78,747	

* 企画展は貸室「現代工芸新潟会」の1,063人を含む



【資料3】

＜参考＞令和6年度 歴史博物館 来館者内訳

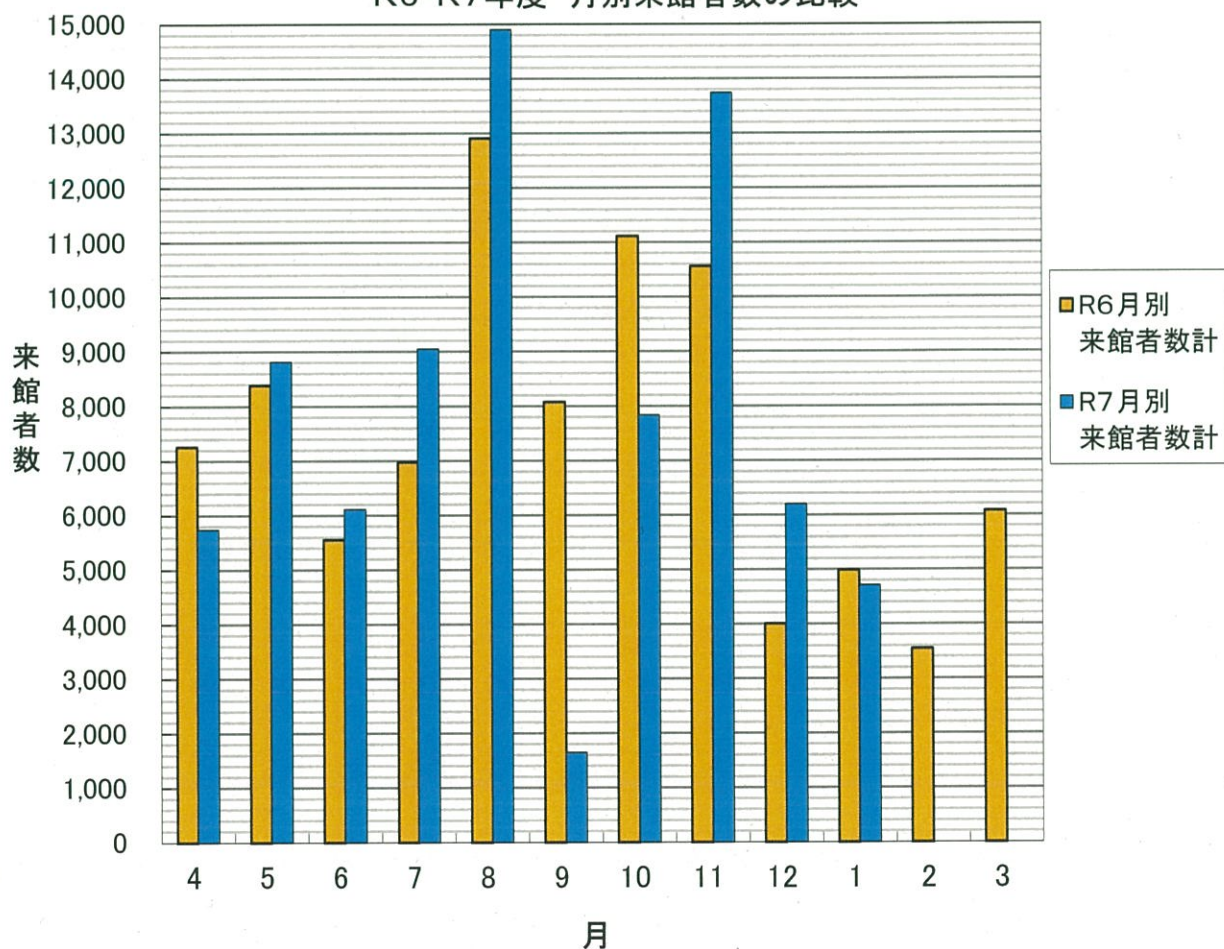
令和6年度目標観覧者数 85,000

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R6月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,617	1,625	2,855	159	7,256	279
5	27	3,009	2,493	2,681	205	8,388	311
6	20	2,136	1,037	2,256	121	5,550	278
7	26	2,478	1,103	3,216	180	6,977	268
8	28	4,516	3,379	4,836	176	12,907	461
9	25	2,942	1,762	3,186	184	8,074	323
10	27	3,695	3,186	4,039	190	11,110	411
11	25	3,622	3,237	3,515	188	10,562	422
12	23	1,286	1,002	1,596	122	4,006	174
1	20	1,084	2,057	1,746	103	4,990	250
2	17	1,291	665	1,513	78	3,547	209
3	25	2,376	1,206	2,377	116	6,075	243
計	289	31,052	22,752	33,816	1,822	89,442	

* 企画展は貸室「現代工芸新潟会」の911人を含む

R6・R7年度 月別来館者数の比較

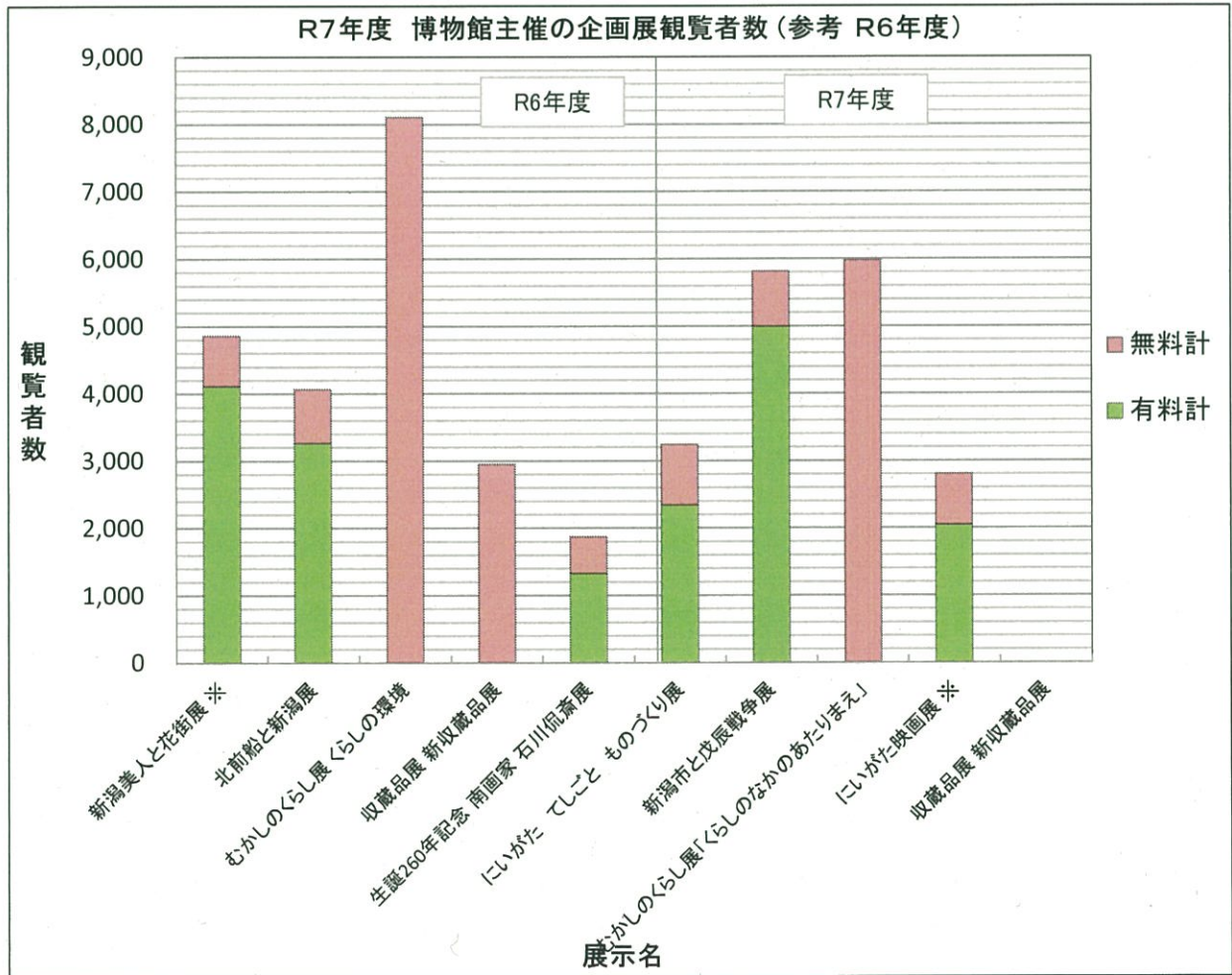


R7年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R6年度）

2026.1.31時点

	企画展名	会期	開館 日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	日平均
6 年度	新潟美人と花街展 ※	4.13～6.9	51	4,858	4,111	4,099	12	747	58	78	95
	北前船と新潟展	7.27～9.1	33	4,063	3,265	2,180	1,085	798	8	281	123
	むかしのくらし展 ぐらしの 環境	9.14～12.1	67	8,102	0	0	0	8,102	1,760	221	121
	収藏品展 新収藏品展	12.14～1.26	32	2,947	0	0	0	2,947	0	0	92
	生誕260年記念 南画家 石 川侃齋展	2.8～3.30	42	1,871	1,327	966	361	544	60	51	45
7 年度	にいがた てしごと もの づくり展	4.12～6.8	51	3,240	2,340	1,566	774	900	61	99	64
	新潟市と戊辰戦争展	7.12～8.31	45	5,813	4,993	3,329	1,664	820	13	285	129
	むかしのくらし展「ぐらしの なかのあたりまえ」	9.13～11.24	64	5,975	0	0	0	5,975	579	357	93
	にいがた映画展 ※	12.6～1.25	38	2,800	2,044	1,423	621	756	0	59	74
	収藏品展 新収藏品展	2.14～3.22	32	0	0						0

※は自主事業



令和7年度 新潟市文化財 旧小澤家住宅 事業報告

《基本理念》 「公の施設目標管理型評価書」より

「新潟市文化財旧小澤家住宅条例」に基づき、「みなとまち新潟」に基づき、「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するため

の各種事業を行う。
 施設運営にあたっては、「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する基本協定」「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する年度協定」に従い、かつ各関連法規を遵守し、施設運営を通じて、新潟市の歴史文化施策の実現に努める。

《運営方針》 「公の施設目標管理型評価書」に記載の「管理運営方針」より

- ① みなとまち新潟の歴史並びに生活文化を紹介する。
- ② 市民の歴史・文化に対する理解、親しみ、郷土への愛着を深める。
- ③ 歴史・文化を媒体とした市民交流を行う。
- ④ 文化財を保存・活用する。
- ⑤ 新潟市の伝統工芸品の魅力紹介と販売促進に寄与する。
- ⑥ 観光施設としての役割を担う。

◆指定管理事業

1 常設展示・企画事業

事業名	開催期間	事業概要
常設展示	通年	みなとまち新潟の歴史や生活文化、また小澤家や旧小澤家住宅について、グラフィックパネルやモニターを使い、紹介。
企画事業		新潟町の歴史に関連した企画展や、旧小澤家住宅の風合いに合った企画展等を開催。
①「新潟歴史玉手箱」展	4月12日～5月18日	観覧者数 1,447人。 市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑・記念碑等、見過ごされている事物・事象を取り上げ、顕彰来歴をはじめ埋もれかけている歴史的内容を掘り起こし紹介。また、石仏の実物を数点展示。
②「筒描」展	5月24日～7月6日	観覧者数 2,266人。 染物のひとつ筒描で作られた、布団側や油単等を展示し、当時の価値観に基づいたデザインや職人技が生み出す美を展示。
③桜井進一氏写真展「昭和の記憶～農村が消えた～」	7月12日～8月31日	観覧者数 1,623人 桜井進一氏の撮影した、宅地造成や工場建設等で大きく変貌した農村風景の写真を展示。
④「みんなの問題 海のゴミ」展	7月12日～7月27日	観覧者数 548人 一般社団法人JEAN所蔵の海のゴミ問題の啓発に関する写真パネルを展示。

⑤新潟郵趣会展「昭和100年に寄せて～時代と共に生きる切手の世界～」展	9月13日～10月5日	観覧者数 1,629人 今年が昭和100年に当たることから、それに因んだ様々な切手、手紙等を展示。
⑥「新潟仏壇工芸展」	10月11日～11月3日	観覧者数 1,606人 当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。
⑦「越後の文人 池田孤邨」展	11月15日～12月21日	観覧者数1,501人 「越後の文人 池田孤邨」の代表作「紅葉に流水・山景図屏風」の高精細デジタル複製画を展示。
⑧「羽子板」展	令和8年 1月4日～1月18日	観覧者数483名 小澤家に贈られた華やかな羽子板を展示。
⑨「ひな人形」展	令和8年 2月14日～3月22日	桃の節句に合わせ、小澤家や市内の家庭で飾られてきた雛人形を展示。

成果・参加者の動向・課題等

各企画展が、地元新聞記事等に掲載され好評となった。今後もマスメディアを活用した広報活動を継続する。

10 2 教育普及事業

事業名	実施概要
①体験学習事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ふろしき講座 7月6日 講師：大嶋美樹子氏 ○仏壇工芸体験 10～11月 ○クリスマスフワーアレンジメント 12月14日 ○稲穂でつくる正月飾り 11月30日 ○稲わらでつくるひな人形 2月22日
②講座・講習・講演会事業	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展の内容に沿った講座 ・講演会「石造物から見た近世日本海交易」 4月20日 講師：関根達人氏 ○古文書講座 ・「初心者のための古文書講座」 6月及び9月（各3回） 講師：本井晴信氏 ○庭園講習会 ・夏の講習会 6月21日（応募者なく中止） 秋の講習会 11月15日（応募者なく中止）
③ボランティアガイド	<p>登録者31名。養成研修後、審査に合格してガイドに登録。館内の案内活動を行う。 5月18日に全体会と引き続き研修会を開催し、18人参加。</p>

成果・参加者の動向・課題等

体験型の講座はテーマによって希望者が異なることから、今後は講習会の方法や講師から助言、協力を受けて広報について検討する。

3 施設普及事業

事業名	実施概要
施設普及事業	旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、チラシ等の作成配布や、SNSによる情報発信、マスクを通じたPRを行う。 また季節に合わせて館内のしつらえや、イベントの開催を行い、来館の動機付けを行う。
①季節に合わせた設え	○山野草の展示 5月10日～18日 ○贗戸入れ替え 5月29日 ○かえるまつり 6月1日～15日 ○きのこまつり 10月(他行事と展示と展示スペースが重複したため中止)
②季節に合わせた飲食を伴うイベント	○藤見煎茶会 5月11日 ○夏至祭 6月15日 ○秋の大文化祭 11月23日 ○年忘れ煎茶会 12月
③企画展等に関連したイベント	○市民企画アワー「アレンジメント「花で彩る」 令和8年1月 ○箒と尺八の演奏会 令和8年2月15日

成果・参加者の動向・課題等

設えに関して、贗戸入れ替え(夏向き)の建具への衣替え(夏向き)についても新潟大学の大学生・院生に手伝ってもらい、速やかに行うことができた。職員が少なく人手が足りないため、今後もボランティアや外部の方々との協力を維持していきたい。

4 調査研究事業

事業名	実施概要
調査・研究	市民が注目し関心のあるテーマの探求や当館の活動の発展のため、調査研究を行う。

成果・課題等

旧小澤家住宅周辺の町並みを考える会と協働して事業を行うことを進めることができた。今後も他のイベントの実施に併せて市民へのPRを行う。

5 収蔵資料の保存管理事業

事業名	実施概要
資料の収集・整理・保存	旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料は、保存と目録の作成を行う。

成果・課題等

史料の保存管理の他、将来的な建物の保存部材について確保し、補修の対応ができた。今後も新たな情報を調査して資料や部材の入手を進める。

6 文化施設管理受託事業

事業名	実施概要
旧小澤家住宅管理事業	文化財としての施設を良好に管理するとともに、来館者サービスの向上に努める。

成果・課題等

庭木の手入れが行き届いている、トイレがきれい、空調が適正など来館者に評価されている。この状況を維持していきたい。

◆付帯事業

事業名	実施概要
物販	来館者に対するサービスの充実を目的に、当館でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなどまちや歴史に関するグッズ等を扱ったミュージアムショップの運営を行う。

成果・課題等

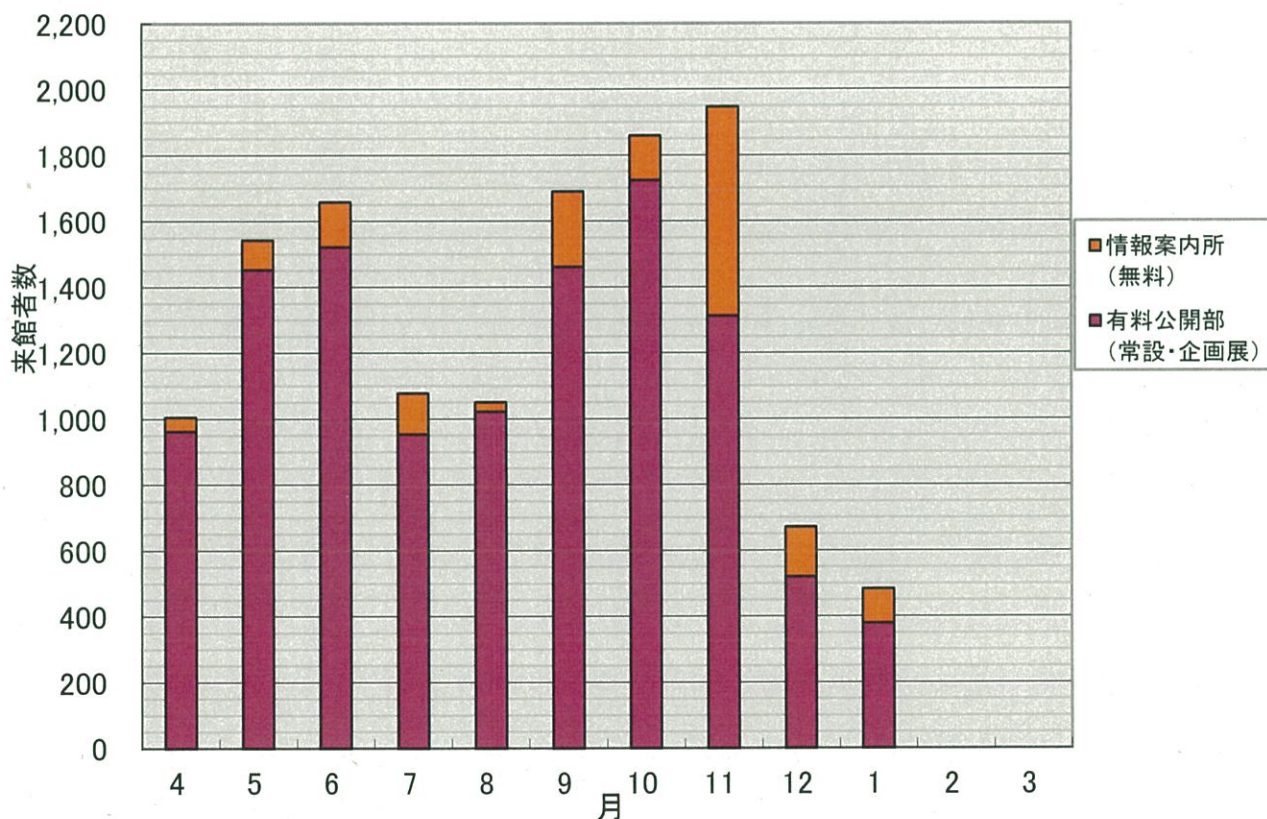
オリジナルのTシャツや手ぬぐい、また受託販売のふろしきや新潟ハイカラ文庫等の販売促進と周辺商店街等と連携したイベントを実施して来館者の増加を図る。

令和7年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(1月末現在)

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R7月別 来館者数計	R7日平均 来館者数	備考
4	27	962	43	1,005	37	
5	27	1,452	90	1,542	57	
6	25	1,521	137	1,658	66	
7	27	953	125	1,078	40	
8	28	1,022	28	1,050	38	
9	26	1,461	229	1,690	65	
10	27	1,724	135	1,859	69	
11	26	1,312	635	1,947	75	
12	23	520	151	671	29	
1	13	379	104	483	37	
2	16			0	0	
3	25			0	0	
計	290	11,306	1,677	12,983	45	

R7年度 月別来館者数

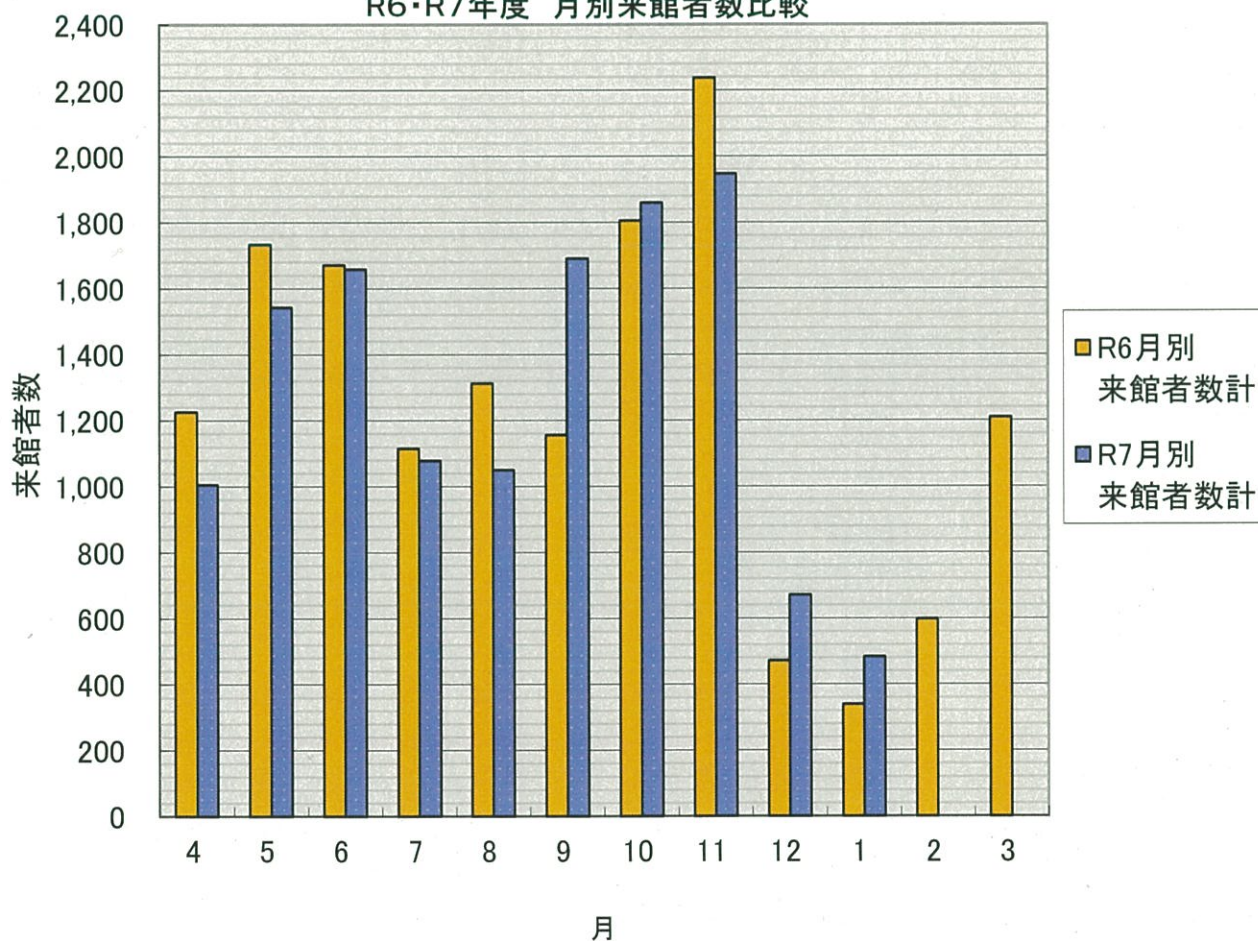


＜参考＞令和6年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R6月別 来館者数計	R6日平均 来館者数	備考
4	26	1,155	71	1,226	47	
5	27	1,601	132	1,733	64	
6	26	1,549	122	1,671	64	
7	26	1,045	70	1,115	43	
8	28	1,245	67	1,312	47	
9	25	1,090	66	1,156	46	
10	27	1,732	73	1,805	67	
11	25	2,163	74	2,237	89	
12	23	442	29	471	20	
1	14	331	8	339	24	
2	17	567	31	598	35	
3	25	1,169	40	1,209	48	
計	289	14,089	783	14,872	51	

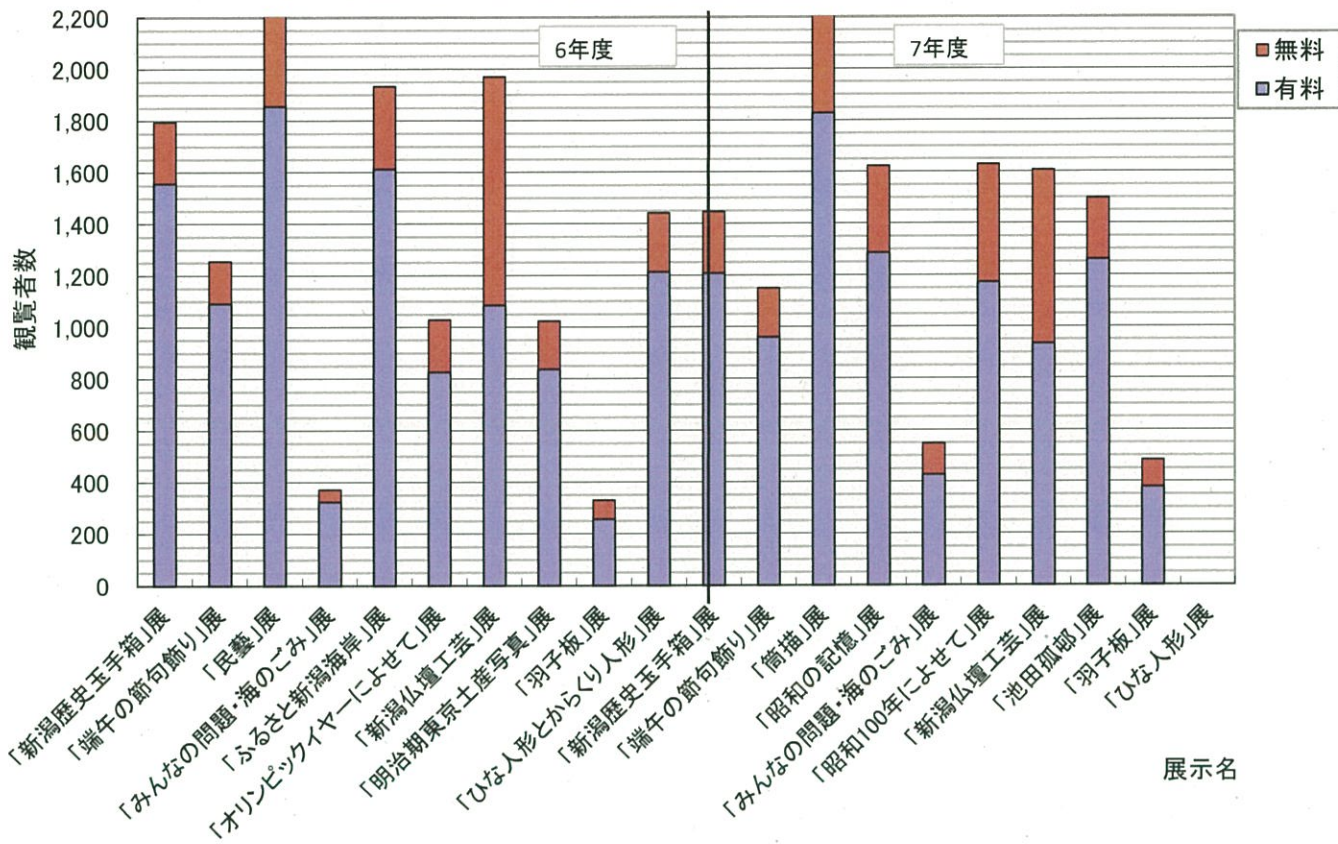
R6・R7年度 月別来館者数比較



R7年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考6年度)

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
6 年 度	「新潟歴史玉手箱」展	R6. 4. 13～5. 19	1,795	1,557	395	1,162	238	10	10	33	54
	「端午の節句飾り」展	R6. 4. 14～5. 10	1,255	1,092	298	794	163	10	9	24	52
	「民藝」展	R6. 5. 25～7. 7	2,234	1,856	739	1,117	378	83	26	38	59
	「みんなの問題・海のごみ」展	R6. 7. 13～7. 21	372	325	131	194	47		8	8	47
	「ふるさと新潟海岸」展	R6. 7. 13～9. 1	1,932	1,612	575	1,037	320		42	45	43
	「オリンピックイヤーによせて」展	R6. 9. 14～10. 6	1,029	826	258	568	203	13	6	20	51
	「新潟仏壇工芸」展	R6. 10. 12～11. 4	1,970	1,086	362	724	884	35	12	21	94
	「明治期東京土産写真」展	R6. 11. 16～12. 22	1,024	838	369	469	186		13	31	33
	「羽子板」展	R7. 1. 4～1. 19	331	257	98	159	74		5	14	24
「ひな人形とからくり人形」展	R7. 2. 15～3. 23	1,442	1,214	543	671	228		20	31	47	
7 年 度	「新潟歴史玉手箱」展	R7. 4. 12～5. 18	1,447	1,209	463	746	238	27	19	33	44
	「端午の節句飾り」展	R7. 4. 19～5. 16	1,150	960	342	618	190	27	17	25	46
	「筒描」展	R7. 5. 24～7. 6	2,266	1,828	826	1,002	438	79	35	38	60
	「昭和の記憶」展	R7. 7. 12～8. 31	1,623	1,286	564	722	337		44	45	36
	「みんなの問題・海のごみ」展	R7. 7. 12～7. 27	548	428	205	223	120		17	14	39
	「昭和100年によせて」展	R7. 9. 13～10. 5	1,629	1,173	600	573	456	156	23	21	78
	「新潟仏壇工芸」展	R7. 10. 11～11. 3	1,606	934	361	573	672	5	8	21	76
	「池田孤邨」展	R7. 11. 15～12. 21	1,497	1,261	674	587	236		13	32	47
	「羽子板」展	R8. 1. 4～1. 18	483	379	233	146	104	0	4	13	37
「ひな人形」展	R8. 2. 14～3. 22	0	0						32	0	

令和7年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考6年度）



令和7年度 活動評価表

重点項目	①多様な主体との連携(交流する/つなぐ博物館)
目的	教育や歴史の専門分野の域を超えた多様な主体と連携し、まちづくりや観光、福祉、国際交流など多分野において地域の活力の向上に寄与する。
評価軸	<ul style="list-style-type: none"> ・連携・協力した団体・個人数 ・連携・協力して実施した事業回数 ・連携において館が果たした成果
担当課	企画普及課・学芸課

I. 博物館による自己点検と評価

(令和8年1月末時点)

評価指標 ・活動実績	○[評価指標]連携・協力した団体・個人数(実数)			
		令和6年度	令和7年度	
		件数(実績)	件数(目標)	件数(実績)
	まちづくり関係	10	12	15
	観光関係			
	福祉関係			
	国際関係			
	その他			
	ボランティア一般 (人数)	133	130	130
	ボランティア高校 (人数)	36	30	26
○[評価指標]連携・協力して実施した事業回数(のべ数)				
	令和6年度	令和7年度		
	件数(実績)	件数(目標)	件数(実績)	
まちづくり関係 (イベント・研修)	15	17	12 ※この他に新潟 日報社との連携 事業を18件実施	
観光関係 (イベント・研修)				
福祉関係 (イベント・学習補助)				
国際関係 (交流・情報発信)				
その他				
ボランティア一般 (活動回数)	206	210	155	
ボランティア高校 (活動回数)	5	5	12	
※教育機関との連携は従来の博物館活動の一環であり、多様な連携に含めていない。また見学や施設利用に関するものも含めていない。				

【資料6】

<p>成果</p>	<p>まちづくり・観光関係として、地域のボランティアガイド9団体と連携してまちあるきツアー5回、観光関係2団体と連携して観光タクシードライバー研修を4回実施(予定)。2企業と連携した出張イベントの開催、福祉関係では地域の茶の間に職員を講師として派遣した。また、新潟日報社との連携でカルチャースクールに講師を18回派遣した(令和6年の実績に含めていなかった)。 市民連携に含めているボランティア活動では、一般ボランティアが155回、高校生ボランティアが12回活動した。</p>
<p>課題</p>	<p>まちあるきツアーは地域資源を素材にした文化観光を目指すべく旅行業者との連携を模索したが、利害が一致せず実現しなかった。なお、一般ボランティアの活動回数が昨年に比べ減退したが、これは秋の落雷による1か月間の臨時休館が影響している。 国際関係では西安博物院と友好提携を2023年に再締結したが、国際情勢の影響もあり進展がない。</p>
<p>次回展望</p>	<p>館の職員も限られており、単に連携事業を増やすことは得策ではないと判断できるが、連携の間口の拡大、特に老人福祉施設など福祉分野での連携を進めていきたい。</p>
<p>取組に対する自己評価</p>	<p>継続・<u>多少修正が必要</u>・さらなる改善が必要・見直し</p>

<p>II. 運営協議会委員による評価・検証</p>	
<p>取組に対する評価</p>	<p>継続・多少修正が必要・さらなる改善が必要・見直し</p>
<p>評価のコメント及び今後の課題や提言</p>	

令和7年度 活動評価表

重点項目	②多様な主体との連携(交流する/つなぐ博物館)
目的	観光、まちづくり、そのほかの分野と連携・協力を図り、地域の活性化に寄与する。
評価軸	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携・協力を継続できたか(回数) ・観光、まちづくり、そのほかの分野と連携・協力による実施事業(回数)
担当課	旧小澤家住宅

I. 旧小澤家による自己点検と評価

(令和8年1月末時点)

評価指標 ・活動実績	○[評価指標]連携した学校連携の回数(単位:参加・開催件数)			
		令和6年度	令和7年度	
		件数(実績)	件数(目標)	件数(実績)
	博学連携:小学	2	2	2
	博学連携:中高	2	2	2
	博学連携:専大	2	2	2
	○[評価指標]連携した分野別の回数(単位:参加・開催件数)			
		令和6年度	令和7年度	
		件数(実績)	件数(目標)	件数(実績)
	社会教育 (講座・講演)	2	1	1
調査研究 (機関・団体・個人)	2	1	1	
報道出版 (取材資料提供)	3	1	3	
展示 (団体・企業・個人)	3	3	3	
まちづくり (イベント共催・協力)	4	4	4	
観光 (ガイド協力・人材育成)	1	1	4	
そのほか				

【資料6】

成果	<p>(1) 江南区文化会館での講演会 (2) 明治期の流通調査(青森県):個人 (3) 写真展・仏壇展・ひな人形展など個人・各種団体との連携による展示 (4) ヤムヤムマーケット、ガラポン抽選会などまちづくりイベントの連携等 (5) 日和山小中学校の職場体験・柳都中学校のミッション型職場体験等 (6) 町並み保存・景観を考える団体との夜間ライトアップ事業 (7) シティガイドの研修・外国人向け煎茶体験</p>
課題	<p>新しい博学連携先・地域連携先の開拓が一つの課題。地元小中学校との連携は比較的容易に行えるが、区域を超えた高等学校以上の学校との接点・希薄さがある点が課題。</p>
次回展望	<p>柳都中学校に働きかけて、当館で実施する事業の中でボランティア活動を図る。また、専門学校との交流も図っていく。</p>
取組に対する自己評価	<p>継続・ 多少修正が必要 ・ さらなる改善が必要 ・ 見直し</p>

II. 運営協議会委員による評価・検証	
取組に対する評価	<p>継続 ・ 多少修正が必要 ・ さらなる改善が必要 ・ 見直し</p>
評価のコメント及び今後の課題や提言	

令和7年度 活動評価表

重点項目	③資料情報のデジタルアーカイブ化(継承する/発信する博物館)
目的	歴史博物館所蔵資料を広く社会に公開するため。
評価軸	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市や各地域の歴史・文化を調査研究する上で基礎となる、歴史資料情報を公開・発信しているか(公開件数) ・デジタルアーカイブの公開により、活用しやすい形で情報を発信し、文化資源の活用に寄与しているか(利用数)
担当課	学芸課

I. 博物館による自己点検と評価

(令和8年1月末時点)

評価指標 ・活動実績	1. 評価指標									
	○データベースの公開点数									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>10</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	5	10	77
	令和6年度	令和7年度								
実績	目標	実績								
5	10	77								
2. 文化資源としての活用実績										
評価指標 ・活動実績	○データベースの利用数(ディレクトリトータルアクセス件数)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	0	10	12
	令和6年度	令和7年度								
	実績	目標	実績							
0	10	12								
○データベースの利用数(データベースの画像利用申請点数)										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>161 4</td> <td>200 10</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	161 4	200 10	5	
令和6年度	令和7年度									
実績	目標	実績								
161 4	200 10	5								
<p>※令和6年度実績値及び令和7年度目標値として、令和7年度第1回運営協議会では誤って総データベース数に相当する値を提示してしまいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。</p>										

【資料6】

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落雷による休館期間中に集中して作業を行い、「西堀」「榎谷小路」など新潟市に関する代表的な場所、名所に関する資料の公開を行った。 ・併せて、写真なしのデータに写真を付すなどコンテンツの充実を図り、公開データの基礎になる内部用データベースの充実にも努めた。 ・データ登録数が250件を越えた(令和8年1月時点で293件)。
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用件数が少なく、広報の不足が考えられる。 ・烏屋野潟などの古写真も登録したかったが、著作権上問題が生じる可能性があったので見送らざるを得なかった。 ・落雷休館終了後は来館者やイベントの対応、展示替えなどで作業時間が十分確保できなかった。
<p>次回展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は長期休館を見据えて内部用データベースの充実を図ったので、次年度は著作権や人権に配慮しつつ公開件数の増加につなげたい。 ・郷土資料館時代収集資料の遡及入力も必要なので、作業方針や実行について検討を進めたい。
<p>取組に対する自己評価</p>	<p>継続 ・ 多少修正が必要 ・ <u>さらなる改善が必要</u> ・ 見直し</p>

<p>II. 運営協議会委員による評価・検証</p>	
<p>取組に対する評価</p>	<p>継続 ・ 多少修正が必要 ・ <u>さらなる改善が必要</u> ・ 見直し</p>
<p>評価のコメント及び今後の課題や提言</p>	

令和7年度 活動評価表

重点項目	④展示事業:インクルーシブな視点での改善(発信する/つなぐ博物館)
目的	さまざまな立場の来館者に向けて、博物館活動を楽しんでもらうための障壁をとりのぞき、より豊かな博物館体験を提供する
評価軸	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも博物館を利用・参加できるよう館内の環境を整備し、観光や国際交流における活用価値を高める取り組みができたか ・外国人・障がい者に向けた情報の編集・発信に取り組めたか
担当課	学芸課

I. 博物館による自己点検と評価

(令和8年1月末時点)

評価指標 ・活動実績	①[評価指標]常設展示を市外観光客が理解するバリアとなっている地名に解説補助を作成する(単位:コーナー実施率)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	0%	100%	0%
	令和6年度	令和7年度								
	実績	目標	実績							
0%	100%	0%								
②[評価指標]常設展示にインバウンド向けの外国語解説を作成する(単位:言語数)										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	1	2	0	
令和6年度	令和7年度									
実績	目標	実績								
1	2	0								
③[評価指標]障がいがあってもMTを鑑賞することができる環境の計画づくり(単位:実施数)										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	0	1	0	
令和6年度	令和7年度									
実績	目標	実績								
0	1	0								

【資料6】

成果	必要項目の洗い出しなどを行いつつ、展示室内のさまざまな情報の中で、地名情報の取捨選択や地図情報の出し方などの更なる情報の出し方についての効果的な方法について引き続き検討している状況である。
課題	補助解説のつけ方に加え、既存の解説情報との整合性やデザインのこともあり、目に見える成果はあげることができなかった。
次回展望	R8年度に長期休館に入ることや、MTの新規映像制作がおこなわれていることもあり、R9年以降の館の再開時に一部リニューアルとして成果が出せるように取り組むのが良いと考える。
取組に対する自己評価	継続 ・ 多少修正が必要 ・ <u>さらなる改善が必要</u> ・ 見直し

II. 運営協議会委員による評価・検証	
取組に対する評価	継続 ・ 多少修正が必要 ・ <u>さらなる改善が必要</u> ・ 見直し
評価のコメント及び今後の課題や提言	

令和7年度 活動評価表

重点項目	⑤展示事業:インクルーシブな視点での改善(発信する/つなぐ博物館)
目的	さまざまな立場の来館者に向けて、博物館活動を楽しんでもらうための障壁をとりのぞき、より豊かな博物館体験を提供する
評価軸	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも博物館を利用・参加できるよう館内の環境を整備し、観光や国際交流における活用価値を高める取り組みができたか ・外国人・障がい者に向けた情報発信に取り組めたか
担当課	旧小澤家住宅

I. 旧小澤家による自己点検と評価		(令和8年1月末時点)									
評価指標 ・活動実績	①[評価指標]館内案内図の外国語版を作成する。 (単位:言語数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	4	1	1
	令和6年度	令和7年度									
実績	目標	実績									
4	1	1									
	②[評価指標]土間の段差用に置き型の手すりを購入・設置する。 (単位:設置数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		実績	目標	実績	0	1	0
令和6年度	令和7年度										
実績	目標	実績									
0	1	0									
成果	<p>現在、館内案内図のフランス語版を作成中。 他の外国語訳版については修正済。 手すりについては令和7年度内に購入予定。</p> <p>外国語版リーフレットを、日本語版と同等のものとした。 また、おみくじに英語訳を入れた。</p>										

【資料6】

<p>課題</p>	<p>外国語訳の館内案内図は無料で作成していただいているため時間を要する。 市の文化財であるためバリアフリーに改築はできないが、建物に影響を与えない範囲でできることはしていきたい。</p>
<p>次回展望</p>	<p>今後も、周囲と協働して改善を進めていきたい。 気軽に意見を受け入れ、市民から愛着を持たれる施設でありたい。</p>
<p>取組に対する自己評価</p>	<p>継続・多少修正が必要・さらなる改善が必要・見直し</p>

<p>II. 運営協議会委員による評価・検証</p>	
<p>取組に対する評価</p>	<p>継続・多少修正が必要・さらなる改善が必要・見直し</p>
<p>評価のコメント及び今後の課題や提言</p>	

令和7年度 活動評価表

重点項目	⑥子どもと若年層に対する取り組み(交流する/つなぐ博物館)
目的	・館の利用が乏しかった世代(未就学児・高校生)に応じた事業を実施し利用拡大を図る。
評価軸	・園や保護者と連携した未就学児に対するプログラム実施(回数と参加者数) ・高校生の社会参画を意識したボランティア活動機会の創出と参加への促進(実施数と参加人数)
担当課	学芸課

I. 博物館による自己点検と評価

(令和8年1月末時点)

評価指標 ・活動実績	○[評価指標]はじめてみなとぴあ参加施設数(単位:回)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="3">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>回数(実績)</th> <th>施設数</th> <th>回数(目標)</th> <th>回数(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度			回数(実績)	施設数	回数(目標)	回数(実績)	9	4	9	7
	令和6年度	令和7年度											
	回数(実績)	施設数	回数(目標)	回数(実績)									
9	4	9	7										
○[評価指標]高校生ボランティアの参加者数(単位:回)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>参加者数(実績)</th> <th>活動回数</th> <th>参加者数(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36</td> <td>12</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度		参加者数(実績)	活動回数	参加者数(実績)	36	12	26				
令和6年度	令和7年度												
参加者数(実績)	活動回数	参加者数(実績)											
36	12	26											
○[評価指標]高校生ボランティアの活動充実度(単位:%)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>令和6年度</th> <th colspan="3">令和7年度</th> </tr> <tr> <th>「5(5段階評価)」(実績)</th> <th>活動回数</th> <th>よい(目標)</th> <th>よい(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.7</td> <td>12</td> <td>95</td> <td>92.2</td> </tr> </tbody> </table>	令和6年度	令和7年度			「5(5段階評価)」(実績)	活動回数	よい(目標)	よい(実績)	90.7	12	95	92.2	
令和6年度	令和7年度												
「5(5段階評価)」(実績)	活動回数	よい(目標)	よい(実績)										
90.7	12	95	92.2										

【資料6】

評価指標 ・活動実績	○[評価指標]子どもの年齢段階別利用者数(単位:人)			
	年齢段階	令和6年度	令和7年度	
		参加者数(実績)	参加者数(目標)	参加者数(実績)
	未就学児	175	190	147
	小学生①	1642	1800	1311
	小学生②	86	95	116
	中学生	229	250	204
高校生	123	145	139	
<p>※教育普及事業(博学連携・アウトリーチ・体験プログラム・子ども歴史クラブ・はじめてみなとぴあ・ボランティア)の合計。小学生①は博学連携の展示観覧者数・出前授業利用者数。小学生②はそれ以外の参加者数。</p>				
成果	<p>9月・10月の防災設備不具合による長期臨時休館があった。休館期間中は来館予定だった園・小学校へのアウトリーチなどに振り替えるなどして対応したものの、利用者数の数値目標は達成できなかった。 「はじめてみなとぴあ」は3月末までに全9回実施予定である。</p>			
課題	<p>当館を利用する学校の数は大きく変わってはいないが、急激な少子化により、来館する児童数・生徒数が減っており、過去実績数との単純な比較だけでない指標も検討する必要がある。</p>			
次回展望	<p>来年度は本館の長期休館に入るので、学校などに事前の情報共有などを適切に行い、出前授業、アウトリーチキットの貸し出しなど休館中に対応できることの周知に務め、学校利用を促したい。</p>			
取組に対する自己評価	<p>継続・ 多少修正が必要 ・ さらなる改善が必要 ・ 見直し</p>			

II. 運営協議会委員による評価・検証	
取組に対する評価	継続・ 多少修正が必要 ・ さらなる改善が必要 ・ 見直し
評価のコメント及び今後の課題や提言	

令和7年度 活動評価表

重点項目	⑦SNS発信の強化(発信する/つなぐ博物館)
目的	館のロケーションに潜在するブランディングに寄与する魅力を引き出し、自他の発信を喚起、広く共有する。それにより、館の認知を広める。
評価軸	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント広報とは別に、みなとぴあの隠れたフォトスポット(建物、景観、季節の植物等)を調べ、魅力ある写真を月2回以上発信できたか。 ・それらの発信で評価を受け、そのフォトスポットへ来たくなるなど、ブランディングに寄与できたか。
担当課	企画普及課

I. 博物館による自己点検と評価

(令和8年1月末時点)

評価指標 ・活動実績	○[評価指標]イベント広報以外のSNS発信件数(単位:件数)								
	令和7年度 ※XとInstagramともに発信								
		目標	実績		目標	実績		目標	実績
	4月	2	X:4 Insta:2	8月	2	2	12月	2	2
5月	2	1	9月	2	0	1月	2	2	
6月	2	2	10月	2	2	2月	2		
7月	2	2	11月	2	1	3月	2		
	○[評価指標]発信に対するの評価件数(単位:件数)								
	令和7年度 【目標:評価数30以上】								
	評価数(♡)	X	Instagram	評価数(♡)	X	Instagram			
	1~10	1		101~150					
	11~30	12	6	151~200					
	31~50	2	10	201~250	1				
	51~100	2		251~					

【資料6】

成果	展示やイベント以外でもこのような場所、モノがあると発信し、多少ではあるが評価をもらえた(周知できた)。
課題	発信数が目標を下回る月があった。評価数も目標値に届かないことが多かった。
次回展望	日頃から隠れた良さを探すようにし、評価数が伸びる様な良い写真が撮れるようにする。
取組に対する自己評価	継続 ・ 多少修正が必要 ・ <u>さらなる改善が必要</u> ・ 見直し

II. 運営協議会委員による評価・検証	
取組に対する評価	継続 ・ 多少修正が必要 ・ さらなる改善が必要 ・ 見直し
評価のコメント及び今後の課題や提言	

I 博物館による自己点検と評価		令和8年度期末時点	
来館者数の目標及び実績	目標 93,000人 実績 78,747人		
来館者数の満足度	目標 「良い」「とても良い」が70%以上 実績 97%(企画展分は除く)		
全体の成果	<p>①目標数の達成:中期計画の5つの事業のうち4つで指標を達成、達成に近い実績。具体的には、ものづくり事業者や観光事業者との連携、未就学児の利用や高校生や高専生の活動に取組んだ。</p> <p>②目的に向けた前進:中期計画で具体的に位置づけ、事業に取り組んだことによる効果。たとえばこども・若者の年齢層や産業・観光など具体的な連携分野の可視化は実績全体の向上とともに、多様な年齢層や事業者分野をつなぐビジョンを意識化・共有化し、「ハブ」としての博物館としての在り方を進めることができた。</p> <p>③課題の可視化:未着手・停滞していた事業に中期計画として取り組むことで、館の課題をあぶり出し、改善に向けた手がかりを得た。</p>		
全体の課題	<p>①目的を踏まえた評価・改善の必要:目標に不足した実績を適切に評価するためには、改めて目的を確認し、本来の生み出すべき成果に対して実績の内容を分析することが重要。</p> <p>②組織力の強化:数的な目標を達成する一方、議論を踏まえた理念の具体化、分業による取り組みなどチームとして共同作業を要する目標の達成が不足。個人の作業努力への依拠、グループワークによる質的な深化や段階的な積み上げに課題。組織力を活かすための計画性の必要</p> <p>③適切なリソース配分:組織的強化のため、グループワークにより段階的に事業を進めることと、メンバーの共同作業の時間を確保する必要。個人の担当業務と共同業務へのリソースの適切な配分のため、年度にわたる事業の計画的な進行管理が求められる。個人裁量を活かしつつ、組織としての計画的な事業管理が課題。例えば個々の事業における計画率といった指標を設けてインセンティブを与える等が考えられる。</p>		
全体の評価	継続・多少修正が必要・さらなる改善が必要・見直し		
II 運営協議会委員による評価・検証			
全体の評価	継続・多少修正が必要・さらなる改善が必要・見直し		
評価のコメント及び今後の課題や提言			

I. 旧小澤家住宅による自己点検と評価		(令和8年11月末時点)	
来館者数の目標及び実績	目標 16,000人	実績 13,122人	
来館者数の満足度	目標 「大変良い」「まあ良い」が70%以上	実績 98%	
全体の成果	地域と連携し、イベント等を実施することができた。外国語対応のリーフレットを拡充し、来館者の安全を確保するための手すりの導入を進めることができた。		
全体の課題	観光分野、専門学校及び大学との連携強化 新たな言語のリーフレットの導入とタブレット等を活用した窓口サービスの		
全体の評価	継続 ・ 多少修正が必要 ・ さらなる改善が必要 ・ 見直し		
II. 運営協議会委員による評価・検証			
全体の評価	継続 ・ 多少修正が必要 ・ さらなる改善が必要 ・ 見直し		
評価のコメント及び今後の課題や提言			

令和8年度 新潟市歴史博物館事業計画

◆指定管理事業

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団が指定管理者として、下記事業を実施する。

1 展示運営更新事業

事業名	事業概要
展示運営更新	「郷土の水と人々の暮らし」をテーマに新潟市の歴史を紹介する常設展示では、日々の設備点検保守と見学への対応を行う。また、一部展示替え可能なケースを用いて企画展やその折々テーマを設定した展示替えを実施する。また、シアターでは3本の映像ソフトを時間を充て込んで上映。昨年度から制作している新規の映像ソフト(「(仮称)水が結ぶ新潟」「(仮称)ウエットランド新潟」が完成予定(「水がながる」各地域の歴史・文化の魅力発信事業)。

2 企画展示事業

事業名	開催期間	観覧料	事業概要
①「新潟の街角一斎藤應志が描いた昭和30年代の新潟」展	4月11日 ～6月7日	一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 200円	旧中条町生まれの洋画家・斎藤應志。彼が描いた昭和30年代の新潟の風景画を、当時の街並みの写真や現在の風景写真を織り交ぜながら紹介する。
②「地図資料からみる新潟の今昔」展	7月11日 ～8月30日	一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 無料	地図にはその土地にかかわる多くの情報が盛り込まれている。新旧の地図を比較しながら、新潟の移り変わりを読み解いてみる。
③第23回むかしのくらし展	9月19日 ～11月23日	無料	小学校3年生の社会科「むかしの暮らし」の単元に合わせ、暮らしの移り変わりに関する展示を行う。 会場は旧第四銀行住吉町支店1階営業室を予定。

3 教育普及事業

事業名	実施概要
①体験の広場	体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員やボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを30回程度実施する。8月までは茶の間の押入スペースを使った展示も実施する予定。
②博・学連携	小学生の見学や中学生の総合学習等に対する館内での対応のほか、学校のニーズに応じてゲストティーチング等、学校へ出向いての授業にも対応する。また、新潟大学への寄付講義のほか、地元大学の連携講師として学芸員を派遣する。保育園と連携して行っている、園児向けの「はじめてみごとびあ」プロジェクトも継続実施の予定。
③博物館実習	学芸員をめざす大学生を対象とした事業で、資料の収集・保存や展示公開、体験プログラムの企画、マネジメントなどを講義と実技で学ぶ。新潟大学向けの通年実習と、その他の大学向けの集中実習(夏休み期間)を例年通り実施する予定だが、新潟大学生の通年実習については、実施時期や会場を調整するなどの調整をはかりながら対応する。
④講座	調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を目的とする講座を開設する。各学芸員が講師をつとめる博物館講座(全10回)を例年通り開設するが、館長がプロデュースする館長講座なども含め、9月以降の開催分については、会場変更や内容を調整して対応する。また例年秋以降に開催していた歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」(全3回)については、まちあるき講座「みごとびあ周辺の歴史散策」(全3回)に変更する。
⑤ボランティア	当館の活動に理解や関心を持ち、自己実現と社会貢献をめざして館の活動に参加するスタッフで、敷地ガイド・常設展ガイド、体験の広場のプログラムの実施などに従事。当年度も新規に募集し、市民の活動の機会を増やす。近年、高校生ボランティア登録者も増え、それに応じたイベント等も計画・実施する。
⑥その他	企業やまちづくり関係・福祉団体など多様な主体との連携企画やイベント等に随時対応し、地域の活性化や市民との文化交流に努める。

4 施設普及事業

事業名	実施概要
①広報	「地図資料からみる新潟の今昔」展などで地元マスコミと共催した広報を実施する。また、県外地方紙へ観光客誘発のための有料広告を掲載予定。その他、企画展やイベントに応じてチラシやポスターを製作し、関係機関・個人・団体に配布する。また、ホームページやSNSを活用した情報発信にも努める。
②地域連携	地元市民団体と共催し、春の「堀と桜のコンサート」、夏の「みごと・しもまち・川まつり」・「夕涼みコンサート」などは地元団体の意向に沿って連携する。そのほか、関連団体や学校などと連携し、館内のイベントなどを会場にしたパネル展なども休館までの期間随時行う予定。

	<p>③みなどぴあファンクラブ 当年度も会員を募集し、特典イベントを実施する。年間クラブ費は600円(10月1日～翌年9月30日)、常設展及び企画展の観覧料が団体料金(2割引)となる。そのほか会員特典として博物館の情報を定期的に提供するほか、館長バスツアーや館長講演会、学芸員が講師をつとめる講座やまちあるき、春・夏季開催分の企画展の解説会などを実施する。</p>
--	--

5 調査研究事業

事業名	実施概要
調査・研究	新潟市の歴史を明らかにし、将来にわたって市民の知的財産になるための調査研究を実施。今年度はその成果の一部を研究紀要第23号にまとめるほか、各企画展および各学芸員の講座等で発表する。

6 資料収集・整理・保存・活用

事業名	実施概要
資料収集・整理・保存	市の歴史に関する資料を収集し、市民共有の財産として整理・保存・活用する事業を実施する。資料の寄贈受入れについては寄贈者との信頼・協力関係を保ちながら行うことに留意する。また、新規受け入れ資料を中心に防虫対策のためのくん蒸なども実施する。資料保存に関しては、展示室やケースなどの展示設備をはじめ、展示具を収める展示準備室、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校において、IPM(総合的有害生物管理。環境に配慮し、必要以上に薬剤を使用せず、こまめな清掃や有害生物が館内に入りにくいような物理的環境を整える管理手法のこと。)に則った保存環境管理を行う。

7 管理運営

事業名	実施概要
管理運営	利用者へのサービスに努め、市民に親しまれ、安心して活用できる博物館を目指し、歴史博物館・旧新潟税関庁舎等の管理運営を行う。

◆付帯事業

事業名	実施概要
物販	図録や歴史関連の書籍・グッズなどを販売。
自動販売機の設置	

◆歴史発見プロジェクト(自主事業)

指定管理事業の補完的役割を果たす自主事業。財団の公益充実資金制度にもとづいて実施。財源は団体・個人からの協賛金をはじめ、本事業の収益金および学芸員が外部講師等をつとめた際の謝金など。

1 企画展示事業

事業名	開催期間	観覧料	事業概要
①「(仮称)西蒲区の古墳」展	11月～ 12月の期間		巻郷土資料館と連携し、同館を会場に開催する。西蒲区に所在する前方後円墳・前方後方墳を主体に蒲原平野の古墳と古墳時代の様相を紹介する。

2 教育普及事業

事業名	実施概要
①みなとびあきども歴史クラブ	小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えさせとす。毎月第3日曜日に実施、全11回。
②大人の体験プログラム	大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベント実施予定。
③特別講演会	地域の歴史にとらわれず、幅広い歴史の中からテーマを選ぶ歴史講演会を実施予定。
④古町学	旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として実施。
⑤外部講師・講座	民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会などへ学芸員を講師として派遣する。

令和8年度 新潟市文化財 旧小澤家住宅 事業実施計画

◆指定管理事業

1 常設展示・企画事業

事業名	開催期間	事業概要
常設展示	通年	みなとまち新潟の歴史や生活文化、また小澤家や旧小澤家住宅について、グラフィックパネルやモニターを使い紹介。
企画事業		新潟町の歴史に関連した企画展や、旧小澤家住宅の風合いに合った企画展等を開催。
①「有願」展 —新潟の文人・良寛の道友—	4月11日～5月17日	新潟の文人にして良寛との交流もあつた有願の天衣無縫の書画を紹介する。
②「切子ガラスの世界」展	5月30日～7月5日	江戸時代後期から明治、大正、昭和にかけて造られたのカット硝子を展示する。
③「みんなの問題 海のゴミ」展	7月11日～7月20日	一般社団法人JEAN所蔵の海ごみ問題啓発に関する写真パネルを展示する。
④「新潟の消防展」	7月25日～8月30日	今年、8月に新潟市で開催される全国消防救助技術大会に併せ新潟の消防の歴史を回顧する。
⑤桜井進一氏写真展 「—新潟大火—」	9月5日～10月4日	昭和30年10月1日に発生した新潟大火の写真を展示し、災害の状況を振り返る。
⑥「新潟仏壇工芸」展	10月10日～11月3日	新潟市の伝統的工芸品である「新潟仏壇」を展示、紹介する。
⑦新潟郵趣会展 「—明治以降の切手・絵葉書—」展	11月28日～1月11日	明治時代以降の切手、絵葉書等を展示し、郵趣の魅力を紹介する。
⑧「ひな人形」展	2月13日～3月14日	桃の節句に合わせ、明治期以降のひな人形や江戸期のからくり人形を展示する。

2 教育普及事業

事業名	実施概要
①体験学習事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「仏壇工芸展」製作体験 10～11月 ○「稲穂でつくる正月飾り」講座 11月 ○「クリスマスリース作り」講座 12月 ○「フラワーアレンジメントワンデイレッスン」 2月 ○「稲わらでつくるひな人形」講座 2月
②講座・講習・講演会事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「有願」展講演会 4月 ○古文書講座 6月、9月 ○庭園講習会 6月、11月
③ボランティアガイド	<p>登録者26名。日頃の館内ガイド活動のほか、全体会、研修会等を実施する。</p>

3 施設普及事業

事業名	実施概要
施設普及事業	<p>旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報物の作成・配布や、SNSによる情報発信、マスコミを通じたPRを行う。 また季節に合わせて館内の設え(しつらえ)を行うとともに、イベントを開催し、来館の動機付けを行う。</p>
①季節に合わせた設え等	<ul style="list-style-type: none"> ○応接セットの展示 5月28日 ○山野草の展示 5月 ○簀戸(すど)入れ替え 5月28日、9月17日 ○かえるまつり(ミニ展示) 6月 ○きのこまつり(ミニ展示) 10月
②季節に合わせた飲食を伴うイベント	<ul style="list-style-type: none"> ○藤見煎茶会 5月10日 ○夏至祭 6月21日 ○秋の大文化祭 11月23日 ○年忘れ煎茶会 12月
③企画展等に関連したイベント	<ul style="list-style-type: none"> ○フラワーアレンジメント「花で彩る」 令和9年2月 ○箏と尺八の演奏会 令和9年2月21日

4 調査研究事業

事業名	実施概要
調査・研究	市民の関心のあるテーマの探求や当館の活動の発展のため、調査研究を行う。 また「旧小澤家住宅周辺の歴史の町並みを考える会」に参加し、協働して活動する。

5 収蔵資料の保存管理事業

事業名	実施概要
資料の収集・整理・保存	小澤家等より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を良好に保存しつつ、展示等に活用する。

6 文化施設管理受託事業

事業名	実施概要
旧小澤家住宅管理事業	文化財としての施設を良好に維持管理するとともに、来館者へのサービスに努める。

◆付帯事業

事業名	実施概要
物販	来館者に対するサービス充実のため、当館オリジナル商品をはじめ、和の文化、みなどまちや歴史に関するグッズや書籍を販売する。